

ほっかいどうの社会保障

2012年1月16日 北海道社会保障推進協議会 Tel:011-758-2648 FAX:011-758-4666

「諦めていましたが、今後もっと制度改善の声を出したい」

ヘルパー・ケアマネジャー100人以上が集い交流！



1月15日(日)、「利用者・高齢者のための介護を！ヘルパー・ケアマネ交流集会」が行われました。札幌市内をはじめ旭川市や標茶町、苫小牧市、余市町などから100人以上が参加して交流しました。

「よくわかった」好評だった日下部講演

大阪社保協介護保険対策委員、大阪府堺市の介護保険担当職員でもある日下部雅喜氏が、「改定介護保険法で何が決まり、介護報酬改定でどうなる？」をテーマに講演しました。

日下部氏は、介護保険見直しをめぐって、昨年6月に成立した法改定の「第1ラウンド」

に続き、今後、社会保障・税一体改革による「第2ラウンド」による大幅な負担増が計画されていると指摘。今年4月からは、負担増は見送られたが、①「介護予防・日常生活支援総合事業（以降『総合事業』）」、②「定期巡回・随時対応訪問介護看護」、③介護職員の医療行為の合法化、④介護報酬、基準改定の影響など大きな問題点があることを説明。「政府がめざす、歩いて30分以内を日常生活圏域とする『地域包括ケア』は広い北海道では無理では」とも指摘、たたかひが必要と強調しました。

また、「札幌市の次期介護保険事業計画」について、札幌市計画推進委員の戸田輝夫さんが、要支援者の介護保険をはずす「総合事業」をやめさせた取り組みや特養ホームの設備計画、次期保険料が月額4800円程度（現行4160円）に大幅に値上げされることなどを報告しました。

介護職員、利用者・家族が共同した取り組みで制度改善を！

続いて4人から報告。家族を介護されている方からは、介護の悩みとともに、問題の根源は制度であり、介護者と利用者・家族が共同して改善していくことが大切と発言。介護職員からは、医療機関への同行で、診察室内などで同行が必要な場合介護保険が認められないなど問題点を指摘。また、地域で事業所の枠を越え、よりよい介護をするため研修会などを行っている札幌厚別ヘルパー連絡会の取り組みや介護処遇改善のため、介護報酬に盛り込むのではなく、これまで通り交付金として継続、充実を求める自治体決議要請の取り組みも報告されました。介護報酬改定についての質問も出されました。

集会に参加した方の感想 (一部)

- ・仕方ないと諦めていましたが、こんなに多くの方々が改善を求め活動されている事を知りませんでした。今後もっと声を出していきたいと思えます。
- ・困った人が利用しやすい制度に。制度内では、できない事が多すぎます。
- ・ケアマネジャーへの評価ありがとうございます。職場では赤字部門と言われ悲しいです。
- ・ヘルパーを募集しても集まりません。給料が安いのでヘルパーだけでは生活できない。
- ・今後も学習会に参加したい。制度改善のための勉強会も、今後も介護のつどいを開いてほしい。

えッ！生活援助45分で何ができるの？！

ヘルパーサービス削減やめて！2.19介護集会

2月19日(日) 14～16時 ホテルノースシティ(札幌市中央区南9条西1丁目) 参加費500円

◆介護報酬改定案は1月25日の社会保障審議会介護給付費分科会で決まります。改善を求める行動を
厚生労働大臣 小宮山 洋子 様 FAX03-3595-2020(厚生労働大臣・大臣秘書室)
<https://www.secure.mhlw.go.jp/getmail/getmail.html> (厚生労働省国民の声問い合わせアドレス)
社会保障審議会介護給付費分科会会長 大森彌様 FAX03-3595-4010(老健局老人保健課)